

- 大阪市は、森林を保有していないことから、大消費地として木材利用の拡大や普及啓発活動をとおして、森林整備の促進を間接的に支援してまいります。
- 令和元年度においては、保育園や小中学校など次世代を担う世代が木材に触れ合うことを目的に、木製品による保育園の備品の整備、小中学校の椅子や机の整備を実施しました。
- また、間伐材等を利用した木工細工体験教室を実施し、椅子などを製作して区役所内で活用する他、身近な自然での森林環境教育につながるイベントを開催しました。

□ 事業内容

図書館における閲覧机・椅子等の整備事業

- 国産木材を使用した閲覧机・椅子・書架等を図書館に整備することにより、多くの来館者が木と触れ合い、木の良さを実感する場を増やし、国産木材利用の普及啓発、促進、需要拡大に寄与した。

【事業費】3,724千円（うち譲与税3,724千円）

【実績】中央図書館 外11館 備品（閲覧机、書架等）

□ 事業スキーム

一般競争入札

□ 工夫・留意した点

- 温かみ・親しみが感じられる閲覧空間が演出できることに留意して選定を行い、図書館の魅力向上および長寿命化を図った。

□ 基礎データ

①令和元年度譲与額	109,611千円
②私有林人工林面積（※1）	0.00ha
③林野率（※2）	0.00%
④人口（※3）	2,691,185人
⑤林業就業者数（※4）	160人

※1：「森林資源現況調査（林野庁、H29.3.31現在）」より、

※2：「2015農林業センサス」より、※3、4：「H27年国勢調査」より

